

東葛支部会報

第11号

千葉工業同窓会東葛支部

2005年4月1日



▲三社祭(浦安市)

支部連絡委員会について

標記について、平成16年8月21日(土)千葉平成会館において、早尾支部連絡委員長に就任以来初めての会議が開かれました。全支部長が出席のうえ、本部から安藤会長のほか、沢辺、佐藤両副会長並びに長嶋事務局長も参加されました。

会議は、あらかじめ、早尾委員長から示された報告資料にもとづき作成された、支部作成の資料を組織順に各支部長が説明致しました。各支部持ち時間5分程度で行う予定でしたが、内容豊富な説明が多く、持ち時間をオーバーし、質疑時間がなくなってしまいました。

今回初めての会議でしたが、組織の充実を感じ

た会議でした。特に、印象に残ったのは、新たに就任した、3名の新支部長が提案していた、パソコンの積極利用による新会員の増加策についての発言が印象に残りました。

最後に、安藤会長の各支部への激励と謝辞があり、質疑応答を兼ねた懇親会に移りました。懇親会においても、活発な意見交換が行われ、実りの多い会議であり、今後の同窓会発展に資するものと考えています。

当支部からは、第2回幹事会(平成16年7月25日)に諮った内容にもとづき、「別紙報告資料」を提出致しました。

※別紙報告資料は10ページに掲載してあります。

支部長：立崎作次

同期 (M34) 有志の集い



34M 土屋 孝夫

卒業後45年をすぎた昨年(2003年)から、仲間どうしメールのやり取りがきっかけとなって、友が友を呼び輪が段々と広がってきた。中には卒業後同じ会社に入り、長くつきあいのある人

もいたが、皆還暦も過ぎ一線を離れ、時間的気持ち的にも余裕が出てきた事が基となった様だ。

2003年5月初めて顔合わせをかねて、横浜中華街に集まった人達は14名、覚えのある人、ない人こもごもであったが、話をしている内に、今はない津田沼校舎時代の事が、懐かしく思い出されて来た。たった3年間一緒に学んだだけで、こんなにも親しく会話が弾む事が、不思議に感じる一時であった。

現役を離れ自由になった人、しがらみで継続勤務している人、自営の仕事を継続している人、趣味の絵画、陶芸、彫刻では玄人はだしの人もおり、千葉工業ではなく工芸出身者ではないかと思われる人も居た。斯様にさまざまな人生を歩んで来たが、元は千葉工業機械科に学んだ仲間だ。

その後O君の発案で茨城在住の友を訪ねながら、一泊で旅行する事になり、2003年9月に実施され9名の参加があった。また2004年5月には浜松花博への一泊旅行にも何と19名の参加者があった。花は二の次前夜祭の盛り上がりが高く、翌日は日差しの強い中、少しばて気味で会場を見物して歩いた。

趣味の絵を続けている人(K君とF君)の展覧会鑑賞会が行われ、そのために地方から上京された仲間もいた。

私などは絵の評価皆目わからず、後の昼食会がメインとなる。展示した画家の方には誠に申し訳なく、この紙面を借りてお詫びしたい。

2004年9月には方向を変えてゴルフをする事になった。

私ゴルフ大好き人間(腕前は上手くなし)に、茂原在住のM君から、大多喜CC宿泊3食付きセルフ

プレー11500円の情報が入る。

同期の人達と一度はプレーしたいと思うが、誰がゴルフをやるのかもわからず、メールを流し賛同者を求めたところ、幸いな事に8名の参加者が決まった。

身体の調子が悪く暫く辞めていた人、以前やっていたが4~5年はクラブを握った事がないと言う人もいたが、親睦主体のゴルフをする事で参加をしてくれた。

宿泊の前日午後(8/31)急にS君から電話で、早めに行ってハーフプレーしようと呼びかけがあり4名の参加となる。ゴルフ場に到着くや否や早速コースへ飛び出した。暫くぶりと言う人も、以前やっていたので勘が戻れば何のその、ナイスプレーで練習ラウンドを終わる。

前夜祭の盛り上がりがまた楽しい、自分の畑で収穫された西瓜持ち込みのK君、アルコールで乾いた咽を潤す。

いつまでも話は尽きないが、明日の事もありお開き就眠となった。

9/2当日は朝食後8時スタート、天気よし風なし、コースはフェアウエー広し、アップダウン少ない絶好のコンディション、しかし日差しは強烈暑い、しかも18ホールスルプレー、皆どうやら昨夜の寝不足が出てきたようで、後半ばてばて何とか全員無事終了した。暫くぶりにプレーされた方も、影での練習(?)の成果を発揮され、初めての試みの親睦ゴルフ大成功であった。



昨年支部に入会された、神奈川在住先輩の堀井さん(27C・ニュージーランドの蜂蜜を輸入販売の仕事をしている)から、参加者に蜂蜜の差し入れを頂き、8人の密な親睦が盛り上がり、楽しく実のある時を過ごす事が出来、厚くお礼申し上げます。

江戸の五色不動尊



25E 田口 昭

JR山手線には「目黒」と「目白」という駅がありますね。目黒には「目黒のお不動様」があります。

それならば、目白にもお不動様があるのかな？また、ほかの色のお不動様はあるのかな？と思った人がおりました。その人がいろいろ調べてみたら、江戸時代に「五色不動尊信仰」というのがあって、江戸の要所に五色の不動尊をおいたのが現在まで残っていることが分かりました。

「五色」とは、密教で東西南北と中央を指すそうです。

「不動明王」とは、大日如来が一切の悪魔を降伏させるために化身した姿で、仏教最高の守護神といわれています。それでは五色の不動尊を紹介しましょう。

■目赤不動尊・天台宗 南谷寺

文京区本駒込1-20-20

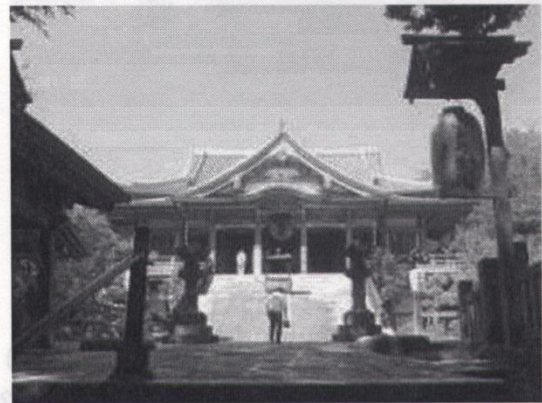
万行律師という高僧が、伊賀の国赤目山で修行中に授かったという、一寸二分の黄金の不動明王がその由来で、万行律師がそれを背負って各地を回り靈験を現したそうです。万行律師は後に台東区千駄木に庵を結んだが、その後現在の文京区本駒込に移転しました。



■目黒不動尊 天台宗 清泉寺

目黒区下目黒3-20-26

平安時代の僧、慈覚大師が比叡山へ赴く途中、この地で不動明王の夢を見て、その像を彫って祀ったそうです。その後、江戸時代に將軍家の信仰を得て広大な敷地に立派な寺院が建ち、目黒御殿といわれて今日に至っています。



■目青不動尊 天台宗 教学院

世田谷区太子堂4-15-1

徳川幕府が開かれた二年後に開基した寺で、不動明王のほかに、恵心僧都の作といわれる阿弥陀如来と、聖徳太子の作？といわれる聖観音が安置されています。



■目黄不動尊 天台宗 永久寺

台東区三ノ輪2-14-5

不動明王は慈覚大師の作といわれ、本尊の阿弥陀如来は運慶の作といわれています。

江戸の初期に、首切り役人「山野永久」が罪深い所業を悔いて寺の再興に尽くしたことから、その名を寺名にしたそうです。



■目黄不動尊 天台宗 最勝寺…(異説)

江戸川区平井1-25-32

不動明王は奈良時代の名僧良弁僧都の作といわれています。

目黄不動には異説が多く、最勝寺のほか原宿の龍巖寺という説もありますが、前述の「永久寺」が定説となっています。

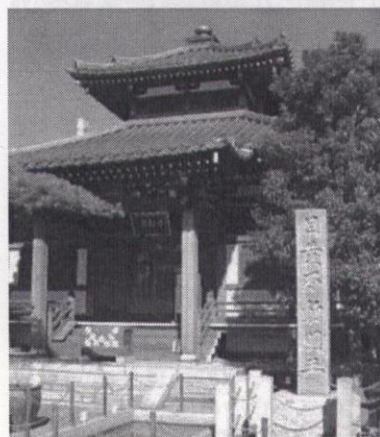
■目白不動尊 真言宗 金乗院豊

豊島区高田2-12-39

もとは日本女子大近くの「新長谷寺」に祀られていました。

戦争のために栃木県足利市へ疎開していましたが、戦後になってここへ移されました。

不動明王は弘法大師の秘仏とされています。



支部忘年会上野で開催

師走となった12月4日、恒例の東葛支部忘年会が、上野じゅらく内「ピア エキスプレス」で行われました。

今回は、県外在住者の利便を考えて上野に設定されましたが、宴会開始と同時にいつもの様に全員が盛り上がり、無料のカラオケはマイク奪い合い状態。

予定の時間があっという間に過ぎ、2004年の締めを迎えました。皆さんの動きが激しかった為、未熟なカメラマンの撮った写真はブレが多く、ごまかしの合成写真となりました。2次会は、有志でアメ横を冷やかしながら、近くの「南部百姓や」で、銘酒「南部美人」を味わいながら楽しく懇談しました。

34M 土屋 記



東葛ウオッチング

その8「市川市」

市川市は文教、住宅都市として発展してきましたが、その歴史は古く、大化の改新(西暦645年)後、地方の行政機関である「国府」が置かれた所です。

現在も「国府台」という地名が残っていますが、国道14号線から真間山弘法寺へ続く「大門通り」は、その時代のメインストリートだったそうです。

弘法寺の周辺は、万葉集にも詠まれている「手児奈伝説」の地として知られていて、当時の歴史を今に伝えるスポットが数多くあります。

市川は、昭和9年、当時の「市川町」、「八幡町」、「中山町」、「国分村」が合併して「市川市」となり、戦後更に「大柏町」、「行徳町」、「南行徳町」を合併して現在の市域に拡大しました。

市川市のデータ

面積：約56平方キロメートル

人口：約45万人

世帯：約192,000世帯

市花：ばら

市木：黒松

市鳥：うぐいす

市川市の主な見どころ

里見公園

京成電鉄「国府台駅」から江戸川沿いに徒歩15分の所にあり、市川市最大の桜の名所です。

「国府台城」の跡につくられた洋式の公園で、円形の花壇やブロンズ像の噴水、自然林が茂る遊歩道があり、江戸川の眺望も楽しめます。

桜の季節には大勢の花見客で賑わいますが、駐車場はありません。



文学の道

市川は、北原白秋、幸田露伴、永井荷風などが居住していたところで、真間川沿いにある「櫻土手公園」付近の「文学の道」には、市川ゆかりの文学者や詩人、俳人、歌人などの作品が書かれた紹介板15枚が並んでいます。

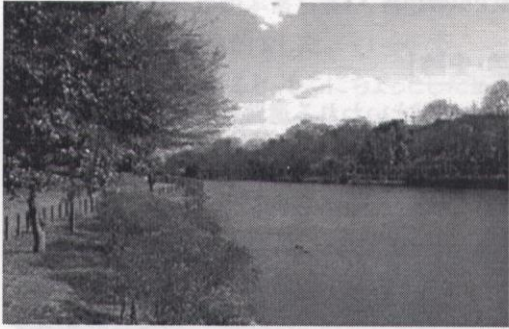
手児奈霊堂



昔、美しい「手児奈」という娘をめぐって男達の間で争いがたえませんでした。手児奈はこれを悲しんで、真間の入り江に身を投げてしまいました。

手児奈の伝説は、奈良時代の歌人「高橋虫麻呂」や「山部赤人」らによって歌に詠まれ、広く人に知られるようになりました。

じゅんさい池



古くは「国分沼」と呼ばれていましたが、水生植物「じゅんさい」が自生していた為「じゅんさい池」と呼ばれる様になりました。

総面積85,000平方メートルの「じゅんさい池緑地」の中にあり、南北に広がる細長い池で、野鳥が沢山いて、池を巡る遊歩道もあります。

また、約140本の梅の木があり、3月には「梅まつり」が開かれます。

中山法華経寺

JR下総中山駅から北へ、真っ直ぐ参道がのびている「法華経寺」は、日蓮宗の寺として知られています。

日蓮は、1260年に「立正安国論」を著して、鎌倉幕府の「北条時頼」に対し、日蓮宗へ帰依しなければ国が滅びると予言しましたが、鎌倉の松葉ヶ谷で襲撃され、下総中山の豪族「富木常忍」のもとへ逃れました。

常忍はその後出家して日蓮の弟子となり、自宅を「法華寺」としました。常忍の近くに住んでいた「太田乗明」もやはり日蓮の弟子となり、自宅を「本妙寺」としました。

この二つの寺は室町時代に合併して現在の「法華経寺」となりました。

境内にある「五重塔・四足門・法華堂」は重要文化財に指定されています。

現在の法華経寺は「本妙寺」があった場所で、法華経寺から10分程歩いた「奥の院」が「法華寺」のあった場所です。



遺跡・史跡

縄文時代といわれる遺跡は、市内で118箇所も見つかっていますが、代表的なものに「堀之内遺跡」、「曾谷貝塚」、「姥山貝塚」があり、これらは国史跡に指定されています。

また、弥生時代のものとしては、南関東最古といわれる「須和田遺跡」があり、ほかに「宮久保」、「鬼高」、「小塚山」など、8箇所の遺跡があります。

真間山弘法寺

「伏姫櫻」として知られる「しだれ櫻」があり、「水原秋桜子」、「小林一茶」、「富安風生」などの句碑があります。

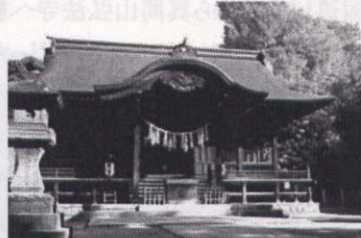
建立は、行基菩薩とも、弘法大師とも伝えられています。

葛飾八幡宮

東葛支部の総会でおなじみの「八幡会館」は、八幡宮の境内にあります。

寛平年間(889~898)に、宇多天皇の勅願によって石清水八幡を勧請した社で、頼朝、太田道灌、家康も崇敬したといわれています。

天然記念物の神木「千本銀杏」があり、幹のなかには白蛇が住み着いていて、これを見た人は長生きするといわれています。



行徳寺町

行徳は「家百軒・寺百軒」といわれた程寺の多い町です。行徳街道は、かつての成田山参詣道で、「善照寺」、「徳願寺」、「長松禅寺」、「妙頂寺」、「妙応寺」、「法善寺」、「妙堂寺」、「円頓寺」、「浄閑寺」、「源心寺」、「了善寺」など、多くの寺院が点在しています。

市川自然公園

鎌ヶ谷市に隣接した、広大な面積を持つ施設で、「大町自然公園」、「フィールドアスレチック・ありのみコース」、「動物園」、「植物園」、「プラネタリウム」、「バラ園」、「自然博物館」などがあります。

東山魁夷アートギャラリー

市川市に居住していた、故「東山魁夷」画伯のリトグラフを常設展示しています。

千葉県立現代産業科学館

県の施設で、科学技術がどのように産業に応用されているかを、実際に「見たり」、「触れたり」して学ぶことができます。(月曜休館・入館料300円)元校長、永峯先生も、一時期、ここの館長を勤められていました。

東葛支部秋のハイキング

恒例の東葛支部主催秋のハイキング。

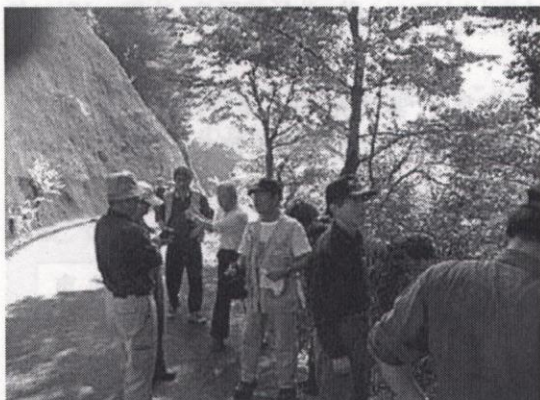
昨年計画した時は、生憎の悪天候で中止となった「養老溪谷」へ再挑戦ということになりました。

11月21日、五井駅から小港鉄道へ乗車。車内にはご夫婦も何組かいましたが、中年の「通称おばさんグループ」が圧倒的に多く、今の日本には「女は群れて楽しみ…男は家で孤独を楽しむ」という図式か出来上がっている様です。

1時間ほど列車に揺られ、ハイカーの後について養老溪谷駅で下車。

コースは、「駅」～「溪谷橋」～「梅ヶ瀬茶屋」～「女ヶ倉」～「大福山展望台」～「白鳥神社」～「もみじ谷」～「日高邸跡」～「梅ヶ瀬溪谷」～「宝衛橋」～「駅」まで、約9.6キロのおなじみ「大福山・梅ヶ瀬コース」です。

最初は舗装の何の変哲もない道で、他愛もない無駄話をしながら歩いていると、やがて道は登りとなりますが、自動車が沢山通ります。



大福山展望台のちょっと下に駐車場があり、そこまで車で来る人が多い様です。

展望台からは房総の山並みが良く見え、房総は山が多いところだと、あらためて実感しました。

展望台を降り、山頂にある白鳥神社(日本武尊を祀ってあるという)へ向かいました…ここで昼飯。

リュックサックから酒が出る、コーヒーが出る、漬物が出る。何で近場のハイキングにあんなに大きな荷物が?とと思っていましたが、なるほど納得、ご馳

走様でした。

ここからは下り、溪谷へ出て、上流の「日高邸跡」を目指します。

(日高邸の主、日高誠實は、明治1119年50歳で陸軍省を辞して、国から大福山山麓に229ヘクタールの土地を借用、奈良県の名勝地月ヶ瀬を模して「梅ヶ瀬」と名付けて移り住みました。

私塾「梅ヶ瀬書堂」を開講し、市原・君津・山武・長生・夷隅の5郡から延べ千人に達する塾生を集めて、国漢・英数・書道・剣道等を教えたといひます。)



日高邸跡は紅葉の名所で、幾つもの紅葉の大木があり、流れに浮かぶ落ち葉や、苔むした土台に積もる落ち葉が印象的でした。

もと来た溪谷を戻ると、そこにちょっとした広場があり、ハイカーが大勢休んでいたのも我々も一休み。

ここからは、溪谷を右に左に渡りながら下流を目指しますが、思いのほか水かさがあると、渡る石



がぐらついていて、何度か靴を濡らしました。

行きに通った分岐を経て駅まで戻り、ここで待ちかねたアルコールとつまみを調達。駅前のベンチは、列車を待つハイカーに占領されていましたが、臨時



囲碁徒然の記



29C 高橋 健一

振り返れば、私と囲碁との出会いは50年前のこと、思えば永い付き合いになります。

母校卒業し、浜野繊維工業(株)に入社、囲碁部を発足させるので一緒にやらないかと誘われたのが初まりでした。

当時5級位の人が最強で、九子の置碁で、60日コミ貫いで対局したのが、ついこの間の様に思い出されます。

当時、東京京橋に本社、長野県丸子、都内に田端、原町、立石の旧事業所があり、社内囲碁大会が開催される様になって、優勝記念に、日本棋院八重洲会館の初段獲得大会で全勝し、社内で初めて有段者になったのもなつかしい思い出です。

その後、業績の低迷からミサワホームの傘下に入るとともに、親睦会の活動も停止。仕事の方も責任ある地位について多忙となり、碁石を握ることもなくなり約20年、いつしか定年を迎えました。

ふと気が付くと、我が家から10分位の所に碁会所がオープンされているのに気付いて足を運ぶ様

の切符売り場?の前がちょっとしたカウンターになっていたの、そこで早速立ち飲みとなりました。

歩き疲れた身体には、ことのほか冷酒が良くまわり、しばらくすると全員酩酊状態。ホームへ出ると、オーストラリア人の二人連れがおり、立崎支部長が得意の英語で話し掛けると、新婚間もないカップルで、ハイキングを楽しんだとのこと。土屋さんがデジカメで写真を撮り、後日メールで送りました。

わずか10キロ足らずのハイキングでしたが、それぞれが綺麗な紅葉と旨い酒の思い出を胸に、三々五々散会となりました。

千葉で降りてまた呑みに行った坂巻さん達、どうなりました…?。

になり、最初四段で打ち初めたのですが、2年程で碁会所規定による九段に昇段、席料も無料になりました。

碁敵がいて、お互いに昇段を競い合ったのが良かったのでしょうか、これも上達の秘訣の一つでしょう。

3年程前、碁会所“碁久楽”の席亭が米国移住を決意、閉鎖するとの事で、経営を引き受けることになりました。

碁久楽の3年間、色々な事がありました、それは機会を見て紹介することにしましょう。

碁久楽を始めて間もなく、同窓会本部として、会員の親睦を深めるため、レクリエーション活動を活発にしようとの事で、その一環として囲碁部も発足することになり、代表を引き受ける事になりました。

安藤会長、千葉西石井支部長の強力なバックアップがあり、活動も軌道に乗りつつあります。

現在では年4回の開催で、今年1月、10回目の大会が無事終了しました。

目下の所大会の優勝者は高段者が優勢ですが、最近点数制を導入しましたので、誰でも優勝するチャンスが生まれるでしょう。

70歳で碁を覚えて五段になった方もいます。

碁は頭のスポーツ、老化防止、ボケ防止に効果があり、多数の方の参加を希望しております。

最後に囲碁マナー：“待った”と“助言”は厳禁です。

“打った石 敵の様子で 取るへボ碁”

“碁の助言 いいとなると 庭へ立ち”

住み良い街づくりとは何だろう

32E 吉田 勝彦



昨年二月から約一年間、地元沼南町高柳の地域診断カルテづくりに参加しました。参加者は三十代から六十代の男性および女性、二十一名の高柳住民です。

その住民が、人材・もの・習慣・行事などの学習資源をはじめ、環境・福祉・道路交通問題など、生活課題について、良い所や悪い所など、自分達のみで見た、地域の現状を把握し、明るく住み良い街にするにはどうしたら良いかを検討するものでした。

結果、「挨拶運動」。「花いっぱい運動」。「交通安全推進運動」から、まずはじめてみよう、との結論に達し、現在、各運動員共、徐々にではありますが軌道にのり、実行しております。

この一年間の活動を通じて、私が感じたことは、何よりも住民同士の良好なコミュニケーションが必

要であるということでした。どこの街でも、年齢。性。生活習慣。人生経験等々、全てバラバラの人々が暮らしています。

最近の我々が青少年時代には考えられぬ様な事故。事件(犯罪)が発生している今日。少子高齢化が、益々進んでゆく今日。支部会員の皆様、こんな時代だからしょうがないと、あきらめる前に、地域住民の為に努力してみませんか。

まずは、人が困っている時に、自分から救いの手を差し伸べてみませんか。きっと良いコミュニケーションが生ずるはずですよ。

「情けは人の為ならず」という言葉を味わいたいものです。

注：平成十七年三月二十八日をもって「沼南町」は「柏市」となります。

〈ご存じですか?〉貴方の地域のミニ知識

市の名	市長名	人口数	市の木	市の花	市の鳥	市の昆虫
市川市	千葉 光行	465,034	クロマツ	バラ	ウグイス	スズムシ
浦安市	松崎 秀樹	147,493	イチヨウ	ツツジ	制定ナシ	制定ナシ
松戸市	川井 敏久	474,078	シイ、サクラ、ユーカリ、ナシ	ツツジ、ノギク、アジサイ	フクロウ、ツバメ、シラサギ	制定ナシ
柏市	本多 晃	333,467 (378,000)	カシワ	カタクリ、シバザクラ	オナガ	制定ナシ
我孫子市	福嶋 浩彦	132,678	ケヤキ	ツツジ	オオバン	制定ナシ
流山市	井崎 義治	157,025	ツゲ	ツツジ	制定ナシ	制定ナシ
野田市	根本 崇	153,544	ケヤキ	ツツジ	ヒバリ	制定ナシ
沼南町	藤川 清	46,364	シイ	ヒマワリ	制定ナシ	制定ナシ

(注1) 沼南町は3月28日より柏市となりました。(注2) 柏市の人口()内は合併後

(注3) 人口は17年2月1日現在(各市の統計表より)

支部連絡委員会会議報告資料（平成16年度）

支 部 名 千葉工業同窓会 東葛支部

記入者 佐枝 立輝

定期総会の経緯	第1回定期総会：柏市近隣センター（増尾） 平成11年6月20日 参加者 会員26名 来賓39名 合計65名 第6回定期総会：市川市八幡会館 平成16年6月13日 参加者 会員33名 来賓31名 合計64名					
会員の推移	平成11年度63名	平成12年度63名	平成13年度62名	平成14年度60名	平成15年度72名	平成16年度77名
支部会報東葛の発行	創刊号平成11年10月10日～第9号平成16年2月11日（毎年2回定期発行）、第10号は5周年記念誌として16年9月に発行予定					
支部役員	支 部 長	立崎伸次(296) 平成11年度～平成16年度				
	副支部長	高橋健一(296) 平成11年度～平成16年度				
	副支部長	松本十九三(300) 平成11年度～平成13年度、木間英一(330) 平成14年度、田口 昭(258) 平成15年度～平成16年度、 任田康和(318) 平成11年度～平成16年度				
	副支部長	吉田勝彦(328) 平成13年度～平成16年度（副支部長4名とし組織強化を図った）				
	事務局長 経理部長	高木 昇(358) 平成11年度～平成14年度、木間英一(330) 平成15年度～平成16年度、 吉田勝彦(328) 平成11年度～平成16年度				
支部活動状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. NPO作り&NPO作り大会 2. コルフアコンペ実施 3. 家族ハイキング 4. 支部会員増対策 5. 地区設置対策 6. 卒業生経営店の利用 7. その他 					
当支部の問題点と課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会員増加対策 今後とも県内外在住卒業生への入会勧奨を積極的に行い、是非とも有料会員数60名以上を確保したい。一方現会員の継続防止策についても検討しなくてはならないと考えている。隔年又は2～3年毎にしか会費を納入めかなり多くなっている。 2. 地区設置 地区設置が思うようにできていない。柏地区設置を考えているが適任者が発掘できず苦慮している。 					
その他	<ol style="list-style-type: none"> 1. 名誉会員制度：他支部の協賛をふまえて当支部としては、高齢化社会の現状にそぐわないので削除することとした。（1）高齢者の生き甲斐に反する（2）年々賞が減少になる等の理由から）：16.7.25 幹事会 1. 若年指導者の育成（エキスマートフランチー） 若年指導者の育成対策が全くないように思われる。早急に候補者の発掘をはかって、グループ対抗の場等を設け具体化をはかる時期に思われる。：16.7.25 幹事会 					
本部への要望事項						

東葛支部会報編集責任者辞任のご挨拶

東葛支部の発足に伴って、会報の編集をお引き受けしてから早くも6年目となりました。

原稿がどうしても集まらず、苦し紛れに自分で文章を作って載せたこともありましたが、皆様のご協力によりまして、創刊号から11号まで、なんとか無事に発行することができました。

このたび、私事転居により「外房支部」のお仲間入りをさせていただきますが、それに伴って東

葛支部会報編集の任を辞すことになりました。

会員の皆様には、長い間編集にご協力くださり、本当に有難うございました、厚く御礼申し上げます。

なお、今後も千葉工業同窓会の一員として、変わらぬご指導、ご厚情をよろしくお願い申し上げます。

31E 住田敏和

皆様の趣味や得意とするものをご連絡下さい。

会員の皆様は、色々な趣味をお持ちだと思いますが、比較的ポピュラーと思われるものについて、役員の中かで一応の担当者を決めてあります。会員の皆様のご趣味・得意

な分野・特技などを把握し、色々な行事や交流にお誘いしたいと考えています。趣味や得意な分野が一致した方は、それぞれの担当者までご連絡下さい。

- ゴルフ 櫻井 一三 〒279-0022 浦安市今川4-8-7 TEL.047-352-5569
- ハイキング 木間 英一 〒270-0002 松戸市平賀125-10 TEL.047-343-0455
- 囲碁・麻雀 高橋 健一 〒270-0157 流山市平和台5-400 TEL.04-7159-9367

今後の予定

当支部の予定

- 3月27日(日) 幹事会(高柳コミュニティセンター)
- 4月17日(日) 幹事会・県外地区(未定)
- 5月15日(日) 常任幹事会(未定)
- 6月12日(日) 総会(本八幡・八幡会館)

本部・他支部の予定

- 3月13日(日) 南総支部総会(木更津市民会館)
- 4月3日(日) 同窓祭(母校食堂)・竹とんぼ教室
- 4月10日(日) 外房支部総会(東金)
- 4月14日(木) ハイキング同好会(佐倉市内)
- 4月19日(火) 囲碁同好会(西千葉囲碁センター)
- 4月23日(土) 千葉市西支部総会(千葉みなと:ポートプラザちば)
- 5月8日(日) 京葉支部総会(船橋:玉川旅館)
- 5月10日(火) 千葉3支部ゴルフ(大上)
- 5月22日(日) 市原市支部総会(サンプラザ市原)
- 6月5日(日) 北総支部総会(佐倉)
- 6月19日(日) 千葉東支部総会(新千葉:平成館)
- 7月3日(日) 千葉中支部総会(千葉みなと:ポートプラザちば)

新入会員募集と入会手続きについて

東葛支部では、会員を増やしてどんどん組織を大きくしていきたいと思っています。このため、役員の中に「会員増促進委員会」を作って活動しています。

会員の皆様の仲間で、会員資格のある方がいらっしやいましたら、ぜひ入会を勧めて下さい。

1. 入会資格 千葉工業学校、千葉工業高校、および同校併設中学校の卒業生、ならびにかつて同校に在勤、在学していた方で支部長が認めた方。
東葛地域に居住している方、または出身が同地域の方、同地域に勤務されている方。
2. 会費 年会費 3,000円
3. 入会手続 役員へ入会申込みされますと郵便振替用紙をお送りしますから、年会費3,000円を振込願います。

支部会報第12号の原稿募集

東葛支部会報第12号の原稿を募集します。

1. 発行予定 平成17年10月
2. 原稿締切 平成17年9月
3. 内 容 母校の思い出・恩師の思い出・私の職場・私の仕事・私の趣味・私の特技・旅日記・近況・クラス会模様・エッセイ・呼びかけ・イベント報告 等、何でも結構です。
4. 投稿方法 卒年科・ご氏名を記入の上、郵便・FAX(自動受信)・E-mailのいずれかでご投稿下さい。
5. 投稿先 編集委員長 坂巻 実 〒277-0921 柏市大津が丘2-4-1
TEL:04-7191-5927 E-mail:minoru.sakamaki@jcom.home.ne.jp

東葛支部会報

第11号

発 行	平成17年4月1日
発 行 者	千葉工業同窓会 東葛支部
発行責任者	支 部 長 立崎作次
事 務 局	事 務 局 長 木間英一
編集責任者	編 集 委 員 長 住田敏和